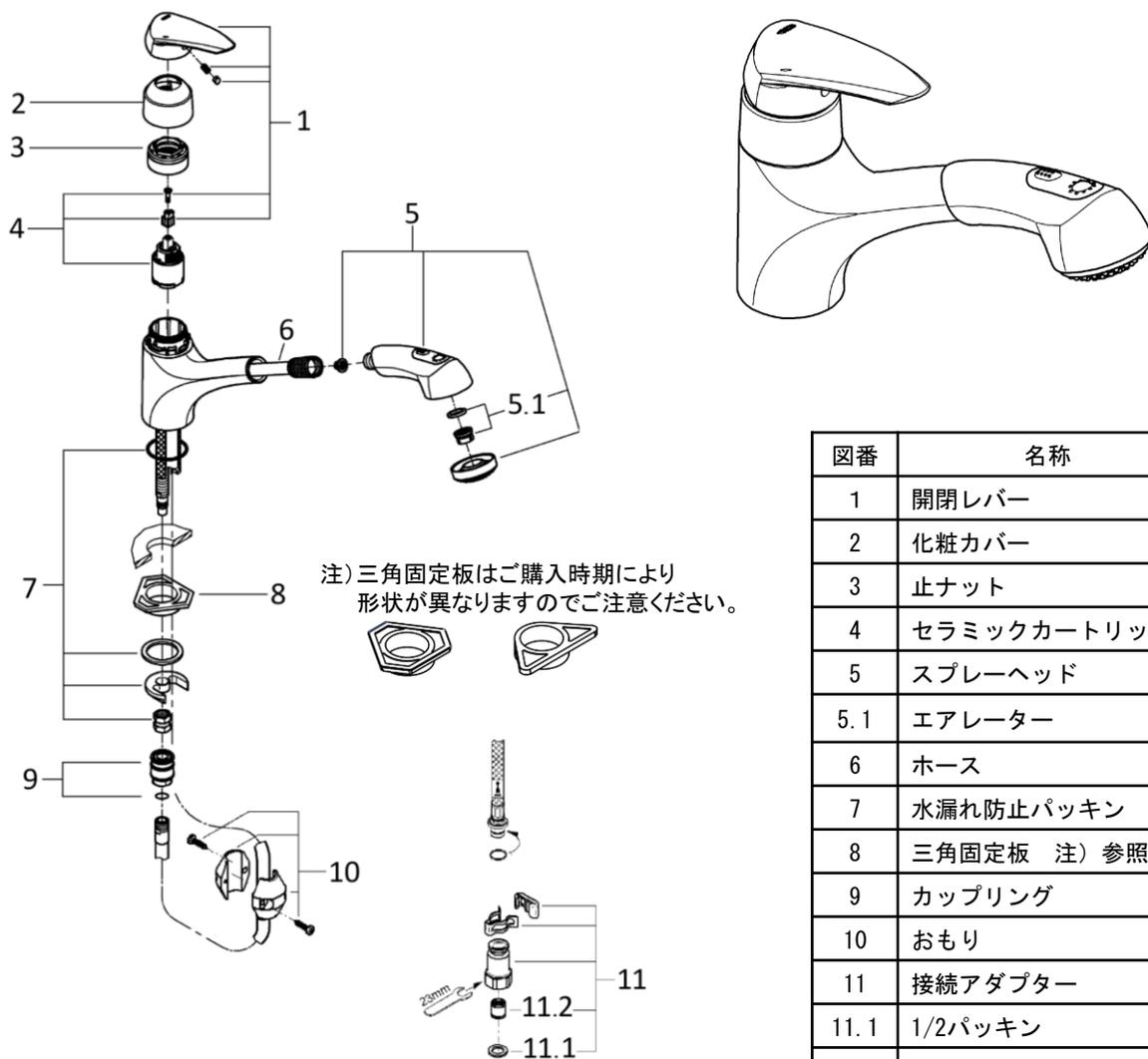


ユーロディスク シングルレバーキッチン混合栓ヘッド引出しタイプ 据付説明書(お客様にお渡してください)

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

各部名称



図番	名称
1	開閉レバー
2	化粧カバー
3	止ナット
4	セラミックカートリッジ
5	スプレーヘッド
5.1	エアレーター
6	ホース
7	水漏れ防止パッキン
8	三角固定板 注) 参照
9	カップリング
10	おもり
11	接続アダプター
11.1	1/2パッキン
11.2	逆止弁

- ※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。
- ※ 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。
- ※ ヘッド引き出しタイプは本体の構造上、ホースやヘッド引出し口に水がかかるとキャビネット内部に入り込み家財を濡らしてしまう恐れがあるため、水受容器を一緒に設置してください

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.16MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

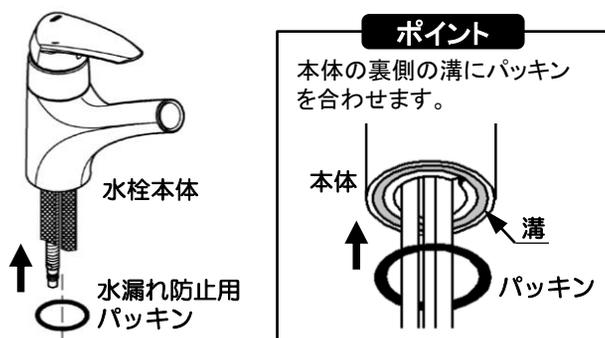
●接続アダプターの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

据付手順

1. 本体の準備

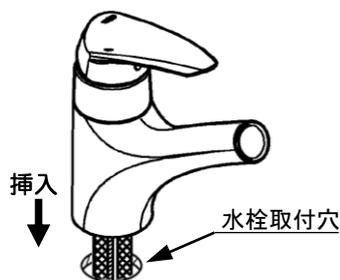
1. 本体に水漏れ防止用パッキンを取り付けます。



注意

パッキンが溝からズレると漏水の原因になりますのでご注意ください。

2. 本体をカウンター上部から取付穴に挿入します。



注意

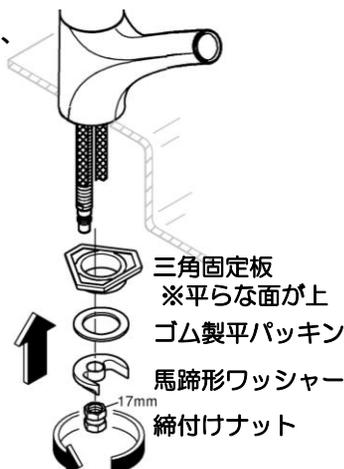
・取付穴が本体の中心になるように注意してください。
・ホース同士がぶつかって取付穴に入れづらい場合は、片側から入れるなど少しずつずらしながら入れてください。

2. 締付け部品の取付け

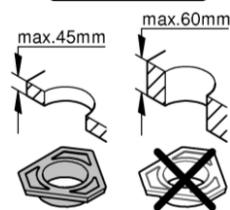
三角固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャー、締付けナットをカウンター下からホースに挿入し、締付けナットを工具(対辺17mm)等で締め付けます。

注意

- ・三角固定板、ゴム製平パッキン、ディスク、締付けナットがカウンター下に隙間なく平行に取り付けられた状態にします。
- ・取付穴が大きい場合(φ38~φ45)には別売のスポンジパッキンを使用してください。
- ・固定には市販品のソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。



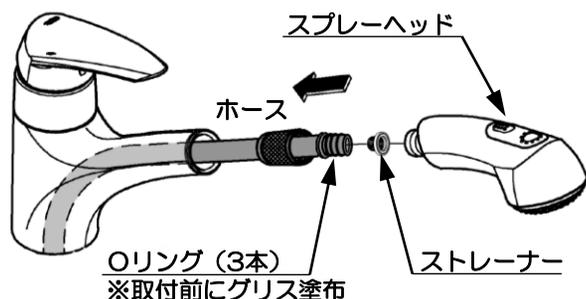
注意



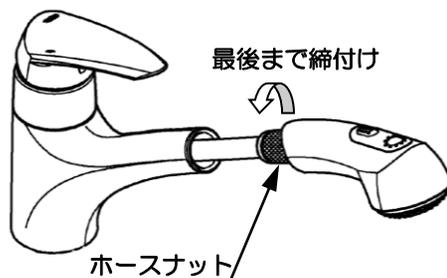
カウンター厚みが60mm以上の場合、三角固定板はご使用出来ません。
締付けナットでしっかりと固定してください

3. スプレーヘッドの取付け

1. ホースをスプレーヘッドに差し込みます。



2. ホースナットを締め付けます。



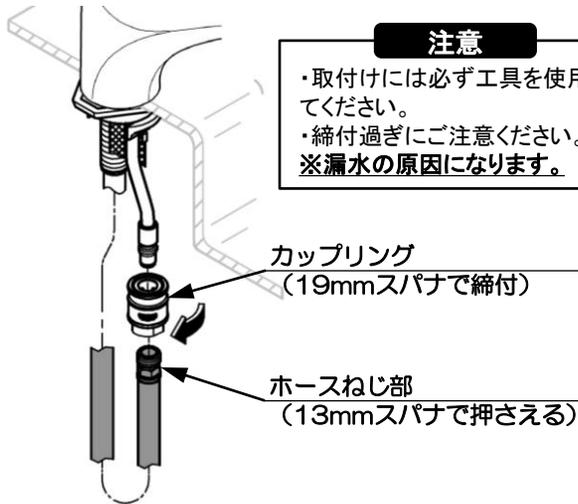
注意

ホースナットがホースの根元に最後まで入っていること。しっかり確実に締めつけて下さい。

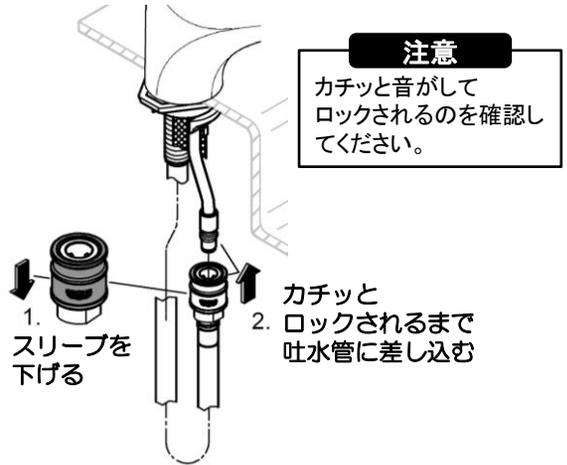
据付手順

4. 本体の吐水管とホース接続

1. カップリングをホースねじ部に取付けます。



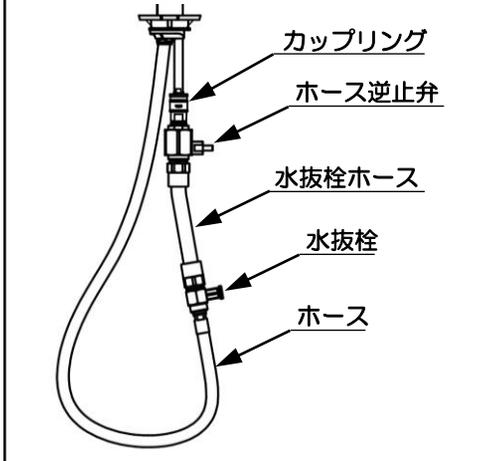
2. カップリングのスリーブを下げ、スリーブを下げたままカップリングを吐水管に差し込みます。



寒冷地仕様の場合

注意

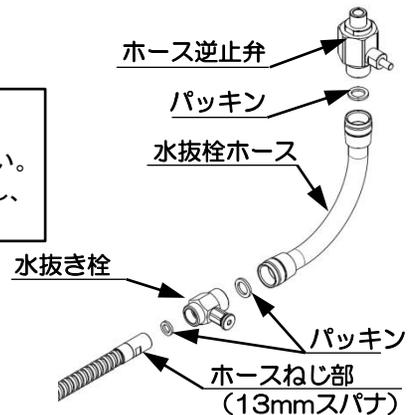
寒冷地用は、カップリングとホースの間にホース逆止弁、水抜き栓を取付けます。



①ホースに、水抜き栓、水抜き栓ホース、ホース逆止弁の順に取付けます。

注意

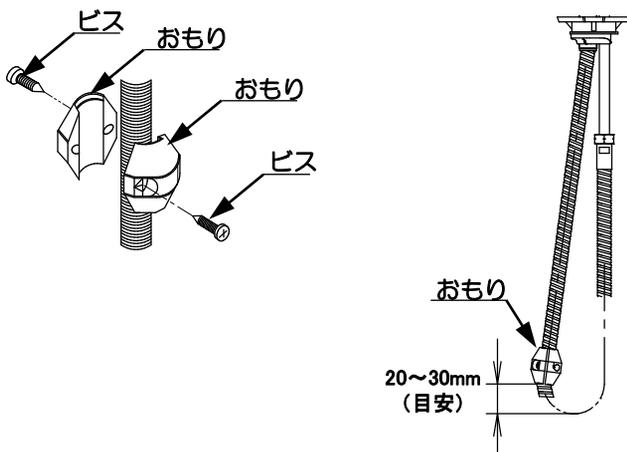
・取付時は工具等でしっかり締めつけて下さい。
・パッキンはサイズを確認し、必ず取り付けて下さい。



②ホース逆止弁に、袋ナットを取付けます。

5. ホース用おもりの取付け

1. おもりをホースに両側からはさみ、ビスで固定します。



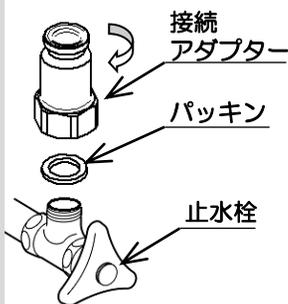
ポイント

・おもりの取付けは、引出ホース下部の曲げ位置から20~30mmスプレーヘッド側を目安とし、おもりの干渉や収まりを確認して調整してください。
・おもりは、スプレーヘッドの納まりをよくするためと、引き出したときのストッパーの役目をします。

据付手順

6. 接続アダプターの接続

1. 接続アダプターを止水栓に固定します。



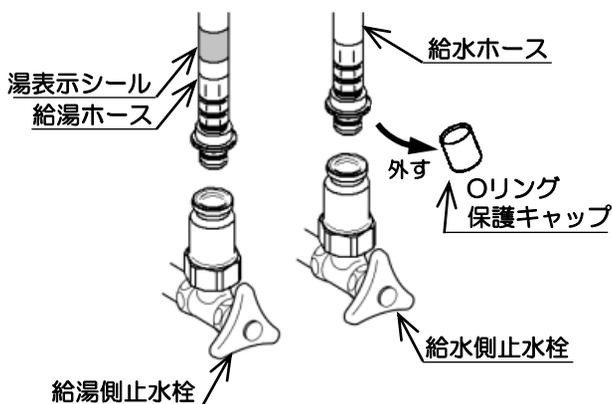
注意

寒冷地用は部品が異なります。

注意

締付は200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

2. 給水・給湯ホースを接続アダプターに差し込みます。



注意

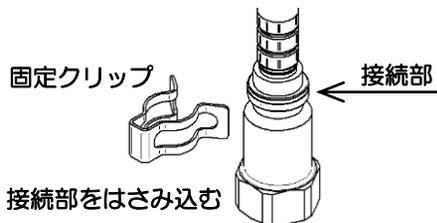
給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。※漏水の原因となります。



注意

・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
※漏水の原因になります。

3. 固定クリップを給水／給湯ホースと接続アダプターの接続部にはめ込みます。



接続部をはさみ込む

注意



固定クリップでケガをしないようご注意ください。

注意

・給水・給湯ホースの不要な接触は避けてください。※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

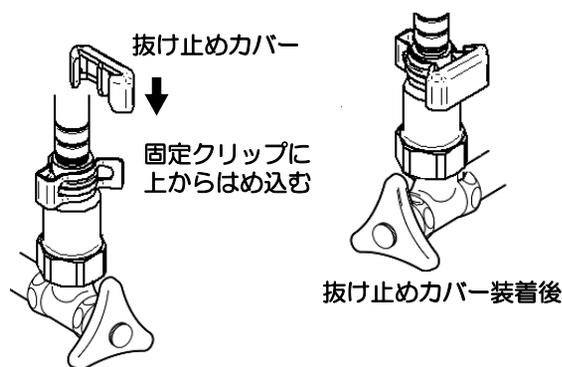
・固定クリップはゆるまないよう、しっかりとはめ込んでください。※漏水の原因になります。

注意



確実に接続されていることを確認してください。給水・給湯ホースを上へ引き、接続アダプターから外れないことを確認してください。

4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



お願い

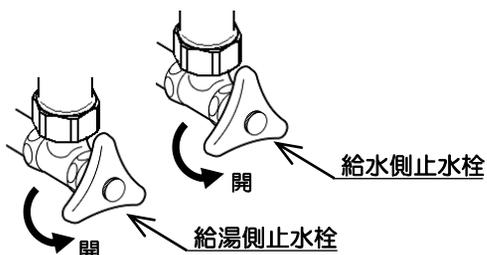
配管が設置されておらず、接続アダプターが接続できない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継いでいただき、配管への接続をお願いいたします。

取付後の確認

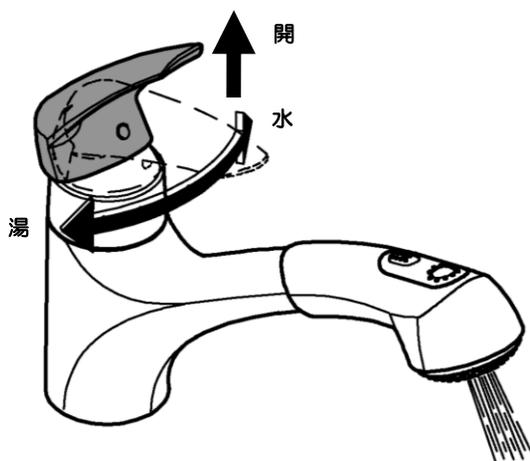
取付完了後、必ず下記の項目を確認して下さい。

1. 通水確認

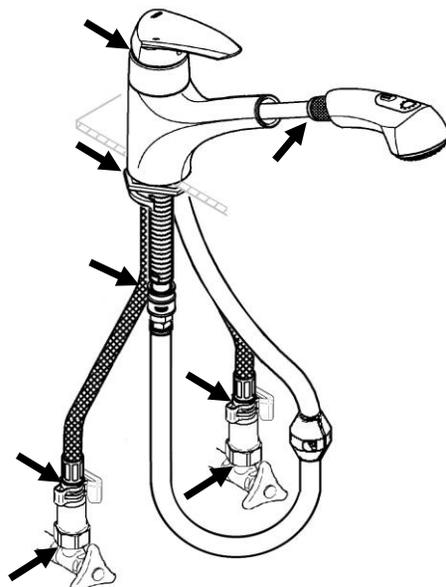
1. 水栓の開閉レバーを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置で開閉レバーをゆっくり開け、通水確認します。



3. 開閉レバーを閉じて、接続部からの漏水がないか確認します。



注意

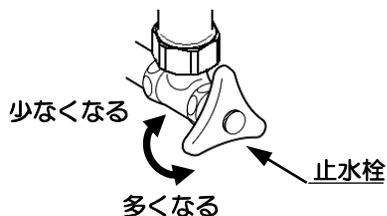
Oリングの切れ等が漏水の原因となります。

注意

万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 流量の確認

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。



ポイント

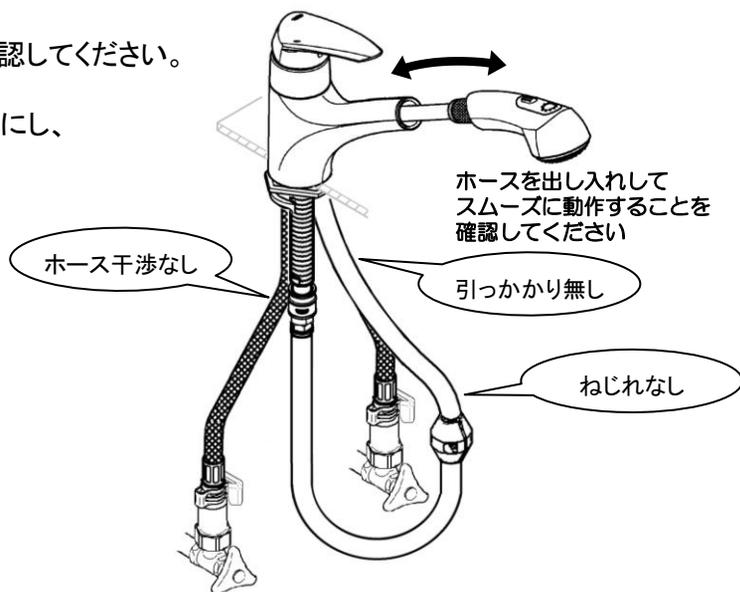
- ・湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。
- ・吐水量を調整することで、水はねをおさえることができます。

取付後の確認

3. 引出しホースの動作確認

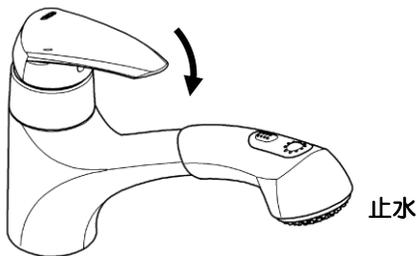
取り付け後、2～3回ホースを出し入れし、ホースにねじれや引っかかりがないことを確認してください。

また、給水給湯ホースとの干渉は避けるようにし、水受容器に収まることを確認してください。

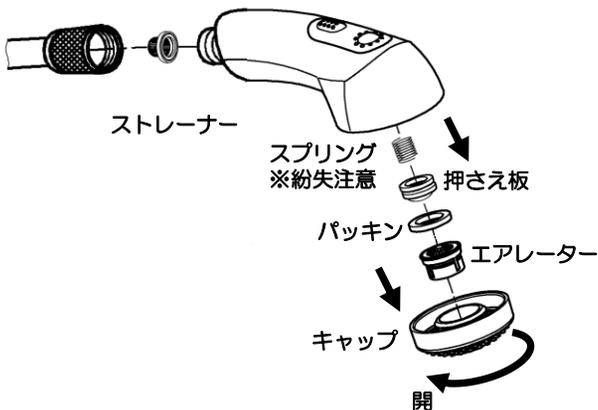


4. エアレーターとストレーナーの清掃

1. 開閉レバーを止水状態にします。



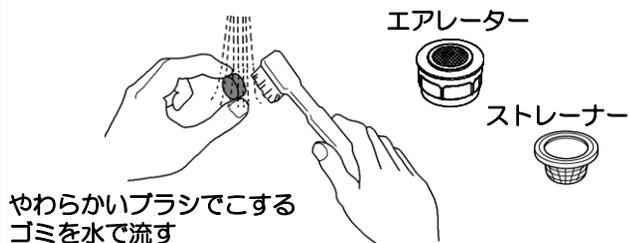
2. スプレーヘッドを引出し、ホース接続ナットを手でゆるめてスプレーヘッド根元のストレーナーを取外します。



注意

キャップは24mm幅の市販工具で取外します。
※製品に傷つけないようご注意ください。

3. エアレーターとストレーナーに付着したゴミを取り除きます。

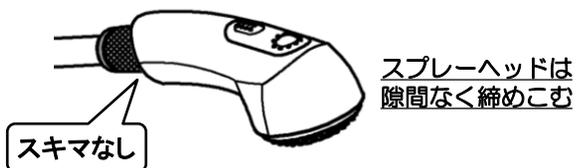


ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく水洗いしてください。

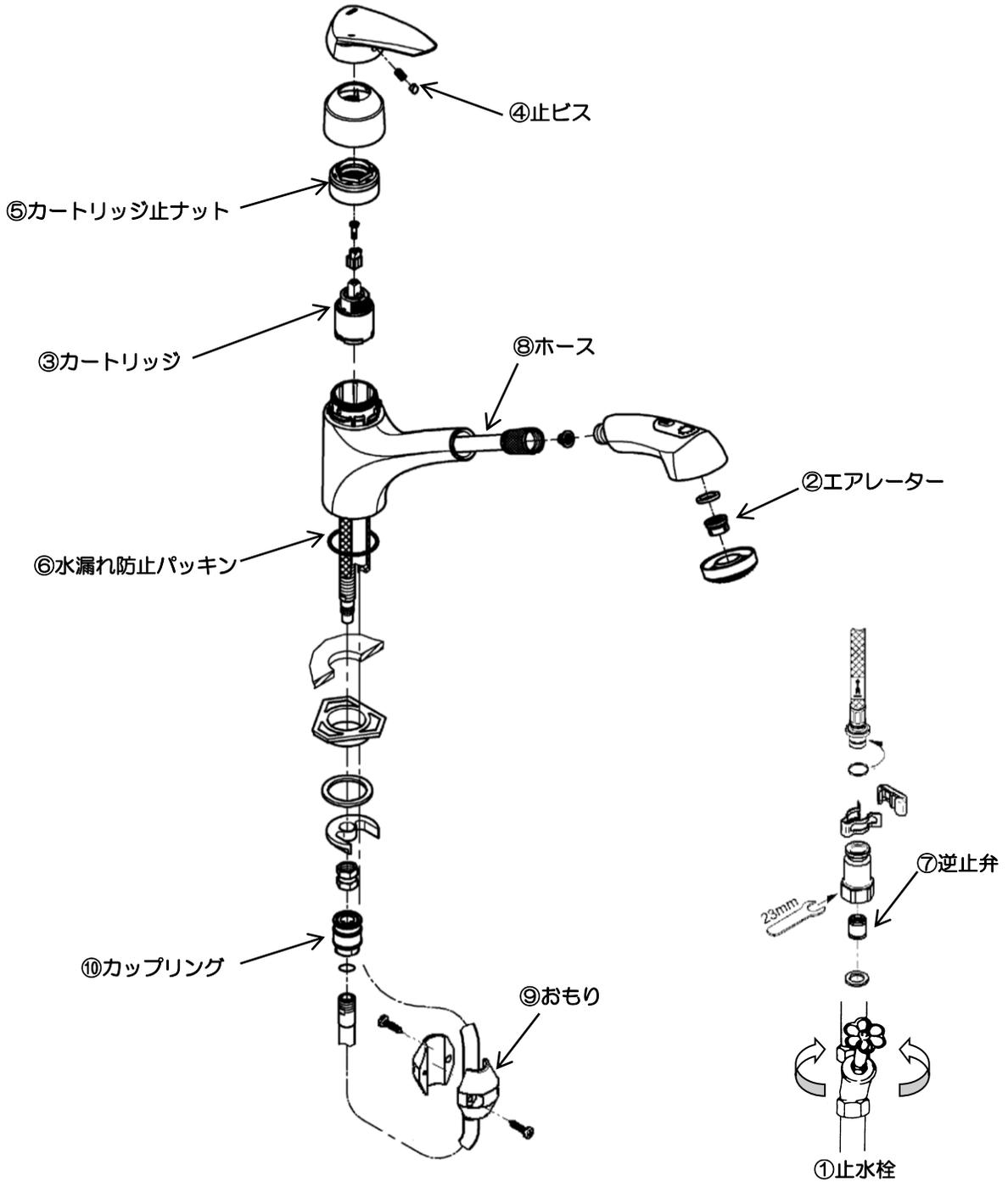
注意

スプレーヘッド再取付けの際はホース接続ナットをホースの根元に最後までねじこんでください。
※しっかり確実に締めつけ、接続ナットとスプレーヘッドの間に隙間がないことを確認してください。
※締めこみ不足は漏水の原因になりますのでご注意ください。



故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	②③⑦⑧	破損・ゴミかみはないか？
水が止まらない	③	破損・ゴミかみはないか？
温度不良	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	③⑦	破損・ゴミかみはないか？
レバーがガタつく	④⑤	正しく取り付けられているか？
カウンター内の漏水	⑦⑩	破損はないか？正しく取付けられているか？
	⑥⑧	正しく取り付けられているか？
ホースが引き出せない	⑧⑨	正しく取り付けられているか？

グロージャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>